

**(重要な後発事象)**

当社は、平成28年6月27日開催の取締役会において、関係当局の認可等を前提に、100%出資による証券子会社の設立を決議しました。

1. 設立の目的

多様化するお客様の資産運用ニーズに、ワンストップでお応えするため、総合的な金融サービスを提供することを目的として設立するものであります。

2. 新設する証券子会社の概要

会社名 京銀証券株式会社(注)  
本店所在地 京都市下京区烏丸通松原上る薬師前町700番地  
(京都銀行本店東館6階)

資本金 30億円

出資比率 当行100%

開業予定日 平成29年5月

(注) 金融商品取引法第31条の3の規定を踏まえ、当初、商号を「京銀証券準備株式会社」として子会社を設立し、第一種金融商品取引業の登録後、「京銀証券株式会社」に商号変更のうえ開業する予定としております。

当連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

	報告セグメント 銀行業	その他	合計	調整額	連結財務 諸表計上額
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	104,203	8,485	112,689	-	112,689
セグメント間の 内部経常収益	450	2,089	2,540	△2,540	-
計	104,654	10,575	115,230	△2,540	112,689
セグメント利益	31,442	2,664	34,107	△19	34,088
セグメント資産	8,143,667	43,904	8,187,571	△33,153	8,154,418
セグメント負債	7,500,642	25,531	7,526,174	△24,809	7,501,364
その他の項目					
減価償却費	5,013	79	5,093	-	5,093
資金運用収益	76,098	179	76,278	△95	76,183
資金調達費用	5,689	85	5,774	△75	5,698
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,928	23	3,951	-	3,951

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業、リース業、クレジットカード業等を含んでおります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△33,153百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (3) セグメント負債の調整額△24,809百万円は、セグメント間取引消去△30,365百万円及び退職給付に係る負債の調整額5,556百万円が含まれております。
  - (4) 資金運用収益の調整額△95百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (5) 資金調達費用の調整額△75百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## セグメント情報等

●セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業を中心とした金融サービスに係る事業を行っております。なお、グループ各社が営む銀行業以外の事業については、重要性が乏しいことから、銀行業のみを報告セグメントとしております。

銀行業は、預金業務、貸出業務、商品有価証券売買業務、有価証券投資業務、内国為替業務、外国為替業務等を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

	報告セグメント 銀行業	その他	合計	調整額	連結財務 諸表計上額
経常収益					
外部顧客に対する 経常収益	106,675	8,283	114,959	-	114,959
セグメント間の 内部経常収益	642	1,965	2,608	△2,608	-
計	107,317	10,249	117,567	△2,608	114,959
セグメント利益	33,533	2,746	36,279	△2	36,277
セグメント資産	8,242,851	41,628	8,284,479	△29,178	8,255,301
セグメント負債	7,560,908	24,764	7,585,673	△26,182	7,559,490
その他の項目					
減価償却費	5,547	86	5,634	-	5,634
資金運用収益	77,753	200	77,953	△82	77,871
資金調達費用	5,509	87	5,596	△74	5,521
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	3,157	44	3,201	-	3,201

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業、リース業、クレジットカード業等を含んでおります。
3. 調整額は、次のとおりであります。
- (1) セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (2) セグメント資産の調整額△29,178百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (3) セグメント負債の調整額△26,182百万円は、セグメント間取引消去△26,390百万円及び退職給付に係る負債の調整額207百万円が含まれております。
  - (4) 資金運用収益の調整額△82百万円は、セグメント間取引消去であります。
  - (5) 資金調達費用の調整額△74百万円は、セグメント間取引消去であります。
4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

●関連情報

前連結会計年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. サービスごとの情報

	貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	51,927	34,089	28,941	114,959

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. サービスごとの情報

	貸出業務	有価証券投資業務	その他	合計
外部顧客に対する 経常収益	49,719	34,578	28,391	112,689

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

●報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

●報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

●報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。